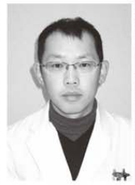
認知症への対応



第2ワールドナーシングホーム　嘱託医
洪　勝男

認知症の早期発見のためには、本人以上にむしろ周囲が気を付けておくことが大事です。普段から社交的で話好きな人はかなり認知症が進んでいても、話を合わせるのが上手なためか、近所の人と立ち話をするくらいでは気付かれにくいことも多いようです。また無口でおとなしい人は、話さないのであまり気付かれないということもあります。

・普通の物忘れとの違い

認知症の物忘れと普通の物忘れの違いは、あるエピソード全体の記憶がなくなるか、部分的な記憶がなくなるかということです。例えば旅行へ行って皆で食事をしたような場合、具体的に何を食べたか忘れることはあるかもしれませんが、旅行へ行ったこと自体を忘れてしまうことは問題です。

・忘れたことに言い訳することが多い

問題になる物忘れが増える時期には、少し自分がおかしいという自覚があるので言い訳することがあります。大事な物をしまい忘れて「誰かに取られた」などという場合には大分進んだ認知症の可能性があります。

・振り返って確認することが多い

ご夫婦の場合、何か質問されるとほぼ毎回のように配偶者を振り返って確認するような場合、認知症を疑っても良いかもしれません。

・冷蔵庫の物が増えた

認知症の初期には買い物で必要な物を必要なだけ買うことができず、冷蔵庫の中に同じような食材がたまるケースもよくみられます。

・通院が不規則になる、処方された薬をなくしてしまう

・店屋物や惣菜が増えた

認知症になると遂行能力が低下し、物事を段取りよく進められなくなります。特に料理は家事の中では分かりやすいです。もともと料理好きな方が、急に店屋物で済ませたり出来上がった惣菜を買ってくるようになったら要注意かもしれません。

・今何月かはっきりしない

今がいつで、自分はどこにいて、目の前にいる人が誰かという理解を見当識と言いますが、これが分からなくなると認知症の可能性が高いです。仕事等していないと日付や曜日が少し怪しくなるのは当然ですが、「月」を間違える場合は認知症の可能性が高いです。

・今まで出来ていた機械操作が出来なくなった

TV、エアコン、電子レンジ等の基本的な操作が、買い替えなどで少し変わった場合でも出来なくなった場合要注意かもしれません。

・好きなことをやめてしまう

意欲の低下は認知症の症状の一つです。急に引きこもったり身なりに気をつかわなくなったりするのは病気によって起きているかもしれません。

・性格が変わった

認知症によっては物忘れが目立たず、性格変化や幻覚などが最初に現れて来る型もあります。

一つでもあてはまるものがあれば、精神科や認知症外来を設けている医療機関に相談しましょう。

新入職員の植樹（梅の木）

清和会入社式（平成30年4月2日）

新入職員　どうぞよろしく

※「　」内は、好きな言葉

第2ワールドナーシングホーム

安部　隼
「晴耕雨読」

秋山さつき
「集中」

宮越久美子
「何とかなるさ」

ワールドナーシングホーム

綿谷由紀
「無理せず　楽せず」

窪田泰一
「一期一会」

高山奈穂
「一念通天」

内田　瞬
「一生懸命(楽しく生きる)」

磯野かすみ
「笑っていれば良い事ある」

難関を突破した合格者　おめでとうございます

介護福祉士

大熊　真路
ワールド
ナーシングホーム

井上　明日香
ワールド
ナーシングホーム

渡邊　賢
ワールド
ナーシングホーム

介護支援専門員

田村　直子
ワールド
ナーシングホーム

吉田　郁美
ワールド
ナーシングホーム

川上　純子
北老人デイ
サービスセンター

松本　朋子
二宮飯山満在宅介護支援センター
ケアプラン飯山満

〈決算報告書〉

平成29年度　社会福祉法人　清和会　貸借対照表

平成30年3月31日現在（単位：円）

資産の部	
流動資産	399,186,139
固定資産合計	1,259,054,799
基本財産	1,071,425,773
その他の固定資産	187,629,026
資産の部合計	1,658,240,938
負債の部	
流動負債	64,775,756
固定負債合計	74,884,471
負債の部合計	139,660,227
純資産の部	
純資産の部合計	1,518,580,711
負債及び純資産の部合計	1,658,240,938

永年勤続表彰者の皆さん

清和会 永年勤続表彰

平成30年4月1日

勤続年数	氏名
30年	滝口　智子
25年	山本香代子
	岡田海砂子
20年	林　秀樹
	岡田真由美
	今野　義人
15年	杉本　美恵
10年	廣瀬　薫
	小出　一成
	重川　恵太

勤続年数	氏名
10年	濱　由紀子
	金井　香織
5年	林　武仁
	佐藤あすか
	渡邉　省吾
	渡邉奈々瀬
	高木　翔子
	若月のぞみ
	小山　睦子
	山本　秀子

地域ケア会議発「はさまいち」

二宮・飯山満在宅介護支援センター ケアプラン飯山満
センター長　野﨑　陽子

高齢になってもいつまでも元気で暮らせる町つくり（地域包括ケアシステム）として、全国各地域で地域ケア会議が運営されています。

地域ケア会議では、地域の課題を抽出して、その課題に向けての活動や地域に発信をしています。二宮・飯山満地区では高齢者の気軽な地域交流の場として平成27年度より「はさまいち」を開催しています。

日本人の健康寿命（医療や介護に依存せず、自立した生活ができる状態）は、男性72歳　女性76歳が平均（2017年データ）と言われています。地域活動の参加や隣近所の声かけや交流なども、介護予防であり地域の大きな力です。

今後も二宮・飯山満地区の高齢者などの健康維持、介護状態になった時にも共に支えあえる基盤が少しでも増えていけるよう地域ケア会議委員及び、当センターも日々活動しております。平成30年度におきましても、地域の運動や交流の場つくりに向けて調整中です。

健康寿命更新のために一緒に活動や参加をして、元気な地域を目指しましょう。

「はさまいち」の事例全国版専門誌に紹介

社会福祉法人「清和会」の二宮・飯山満在宅介護支援センターが実施している地域ケア会議「はさまいち」の事例が冊子「全国地域包括・在宅介護支援センター協議会の事例集」に紹介されています。その冊子は全国的にすぐれた事例をまとめているもので注目されています。これもみなさんの努力のおかげです。

地元農家のおいしい野菜市がスタート

社会福祉法人 清和会 地域事業担当　中田　俊一

地元農家が新鮮野菜を提供する場として、ワールドナーシングホーム敷地内の道路沿いに無人販売スタンドを5月に設置しました。

毎週木曜日だけオープンの小さな野菜市ですが、船橋特産の人参は格別においしく、そら豆、玉ねぎ、絹さや、ジャガイモ、ズッキーニ等も美味、これからも季節の野菜が待ち遠しくなります。

地域の方に「船橋には地元特産のおいしい野菜がたくさんありますよ」というようなことからスタートした野菜市です。勿論、利益目的ではなく、ただ「小さな地域おこし」となるきっかけとなればいいと思います。協力していただいている農家には感謝の一言です。いつもありがとうございます。

ご苦労さまでした

ケアハウス市立船橋長寿園 生活相談員　岡村　祐子

去る4月29日、天理教津田沼分教会の皆様が、清掃ボランティアに来て下さいました。総勢100名の天理教の皆様は、ワールドナーシングホーム、第2ワールドナーシングホーム、そしてケアハウス市立船橋長寿園の3施設に分かれ清掃活動をして下さいました。

今回始めて清掃作業をお願いした、ケアハウス市立船橋長寿園では、地下にあるケアハウス自慢の男性浴の清掃、浴室前の地下庭園の除草作業をして頂きました。ボランティアの皆様は、ケアハウスの浴室の広さに驚かれていましたが、「掃除のしがいのある大きな浴槽だ」と、熱心に清掃して下さいました。

天理教津田沼分教会の皆様有難うございました。

天理教津田沼分教会のみなさん

高齢者福祉事業功労者表彰（周りの方々に感謝）

第2ワールドナーシングホーム 介護員　上地　恵大

去る平成30年5月29日、千葉県高齢者福祉施設協議会主催による「高齢者福祉事業功労者表彰式」に出席してまいりました。高齢者福祉事業功労者表彰の受賞条件は、7年間継続して社会福祉従事者として貢献された方であり、各事業所の長が、推薦した職員が対象だそうです。ちなみに今年は、312名の方が受賞されました。清和会では、ワールドナーシングホームの2名、第2ワールドナーシングホームの3名が、それぞれ表彰されました。

私も清和会に入社して7年が、経過しました。介護業務を通して多くのことを学ぶことが出来ました。また、介護の仕事はとても難しいと日々感じております。ご利用者の想いや訴えを読み取り、受け応えをするというコミュニケーションが非常に重要となります。対応をひとつ間違えれば、相手方を怒らせたり、悲しい思いをさせてしまいます。改めて日常生活の中で、ご利用者の小さな変化に気づき、ケアしていく必要性があると感じております。

そして、はたらく環境が日々変化していく中で、自分なりの「目的・目標」を明確にし、達成するには「何が必要で、どう実行すればよいのか。」模索することが、重要であると感じました。

私は、入社当初から多くの方々に支えられたおかげで、今回のような多大なる表彰を受賞できたのかと思っております。今後もこの経験を介護業務に生かし、精進していきます。本当にありがとうございました。

千葉県高齢者福祉事業功労者表彰

第2ワールドナーシングホーム 介護員　石川　舞

私は当施設に7年勤務させて頂いたため、千葉県高齢者福祉事業功労者として表彰されました。私が高校1年の秋に優しく大好きだった祖母が脳出血で倒れ、2年程闘病し、3年の冬に亡くなりました。日に日に衰弱していく祖母を見ているだけしか出来ませんでした。

就職活動をしている上で介護についての技術を学び、祖母のような病気を持っている方の役に立てる仕事に尽きたいと思ったのがきっかけでした。ご利用者はいろんな方がいらっしゃいます。日々声掛けし対応させていただく上で笑顔が見られるのが私の喜びです。

私は社会経験や介護についての知識がなく、分からない事ばかりでした。そんな私に優しく時に厳しく、分かりやすく教えてくださった先輩方が居たからこそ今も働くことが出来ているのかなと思います。

今後も自分自身も精進し、先輩方が教えてくださった事を思い出し、後輩達がご利用者のためにしっかり働いてくれるように仕事を教えられる先輩になりたいです。

ホームの仕事は、人と人の関係で成り立っています。そして、ホームに入所されている皆さんが安心して暮らしていけるように、心掛けてまいります。

表彰受賞者（勤続7ヶ年）

・ワールドナーシングホーム
吉野慎哲（介護員）
浅岡里美（介護員）

・第2ワールドナーシングホーム
上地恵大（介護員）
石川　舞（介護員）
坂内順一（介護員）